

日本地理学会総務専門委員会・ 地理教育専門委員会が実施した Webアンケート結果

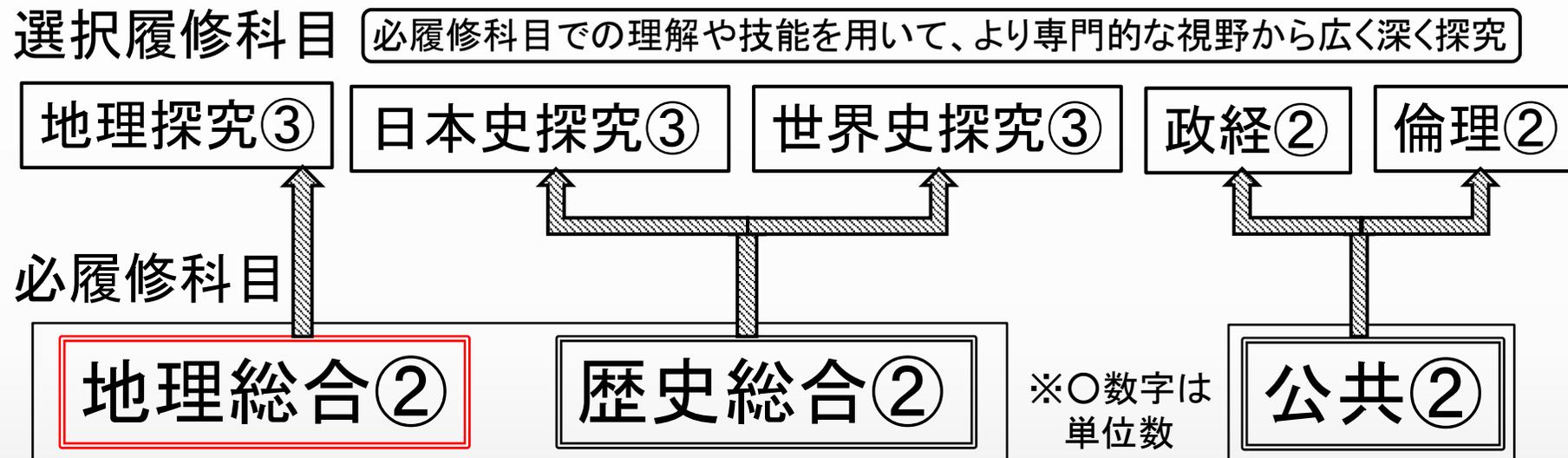
—「地理総合」履修に関して—

2019年12月

日本地理学会が実施したWebアンケート調査

- 名称: 地理教育に関する研修や講習, 地理教育・地理学関連団体の活動状況等に関するアンケート
- 実施時期: 2019年7月
- 実施方法: 学会員名簿などから地理教育関係者等を抽出してメールを送付し、回答を依頼
- 調査内容: ①検討状況 ②履修学年 ③「歴史総合」との関係 ④授業担当者 ⑤「地理探究」開講予定・学年 ⑥実施にあたっての課題
- 回答状況: 「地理総合」履修等について高校教員等90名から回答(回収率約20%と推定)

参考資料 地理歴史科・公民科の「基本的な構造」



- 履修学年（年次）の指定はないが、
 - 「探究」科目の履修は、「総合」科目の履修が前提
 - 「探究」科目の履修で「総合」科目の履修代替不可

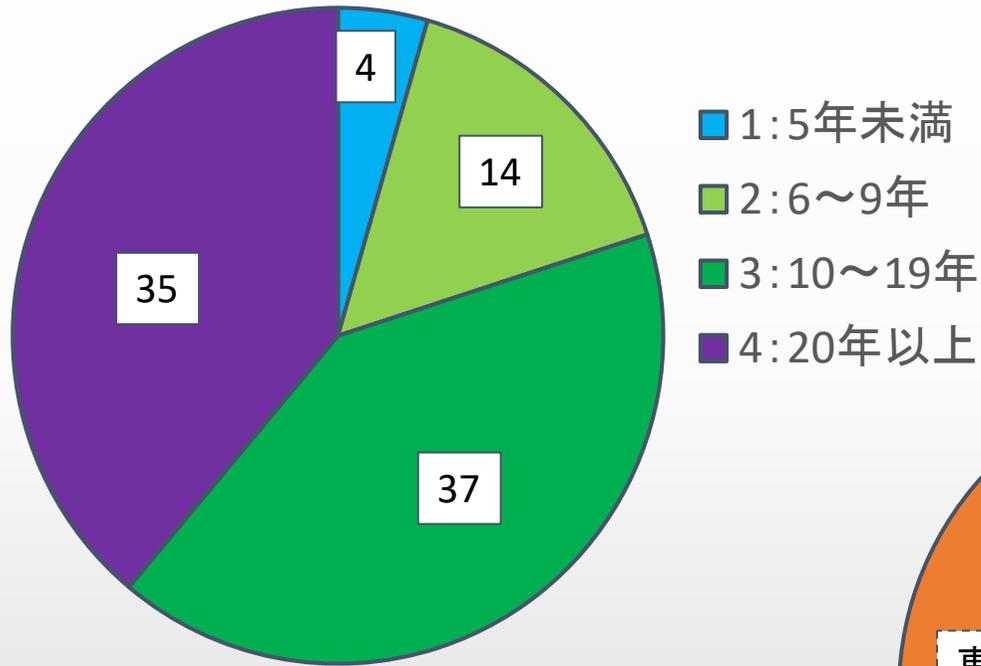
- 「公共」は1, 2学年（年次）で履修

（『高等学校学習指導要領（平成30年告示）』から作成）

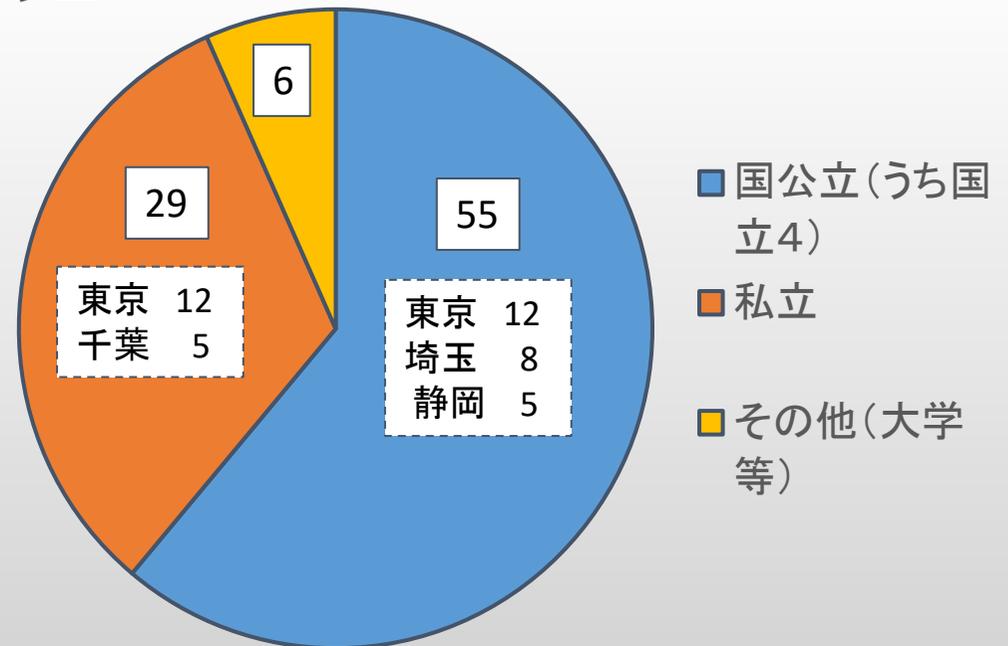
回答者の属性

n=90

勤務年数

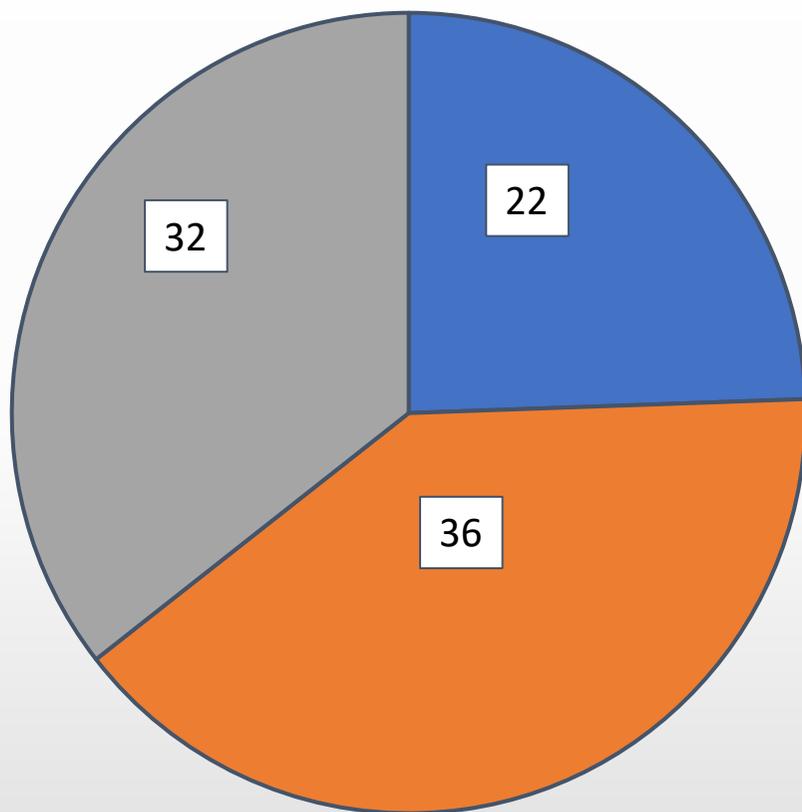


設置別



新教育課程の検討状況(全体)

n=90

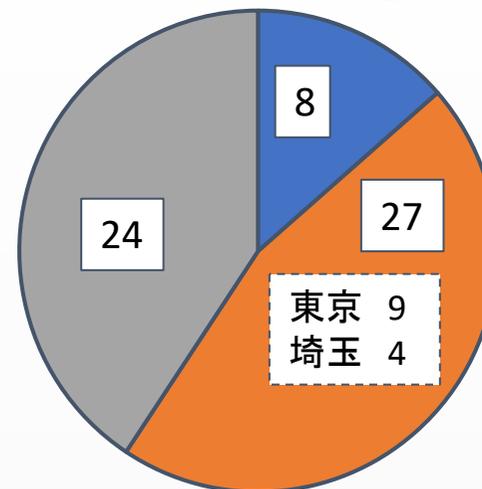


- 1: 教科等で
- 2: 学校全体で
- 0: 組織的には未検討

(設置別)

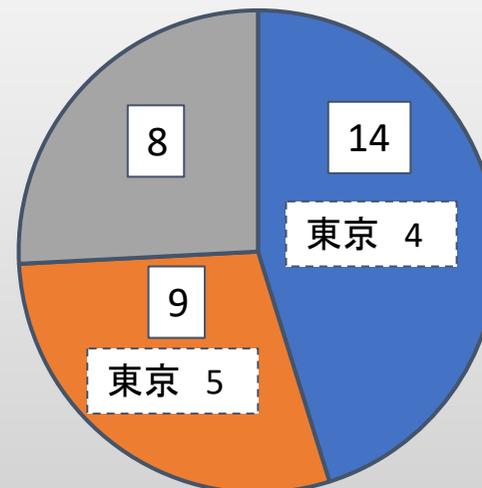
[国公立(その他4を含む)]

n=59

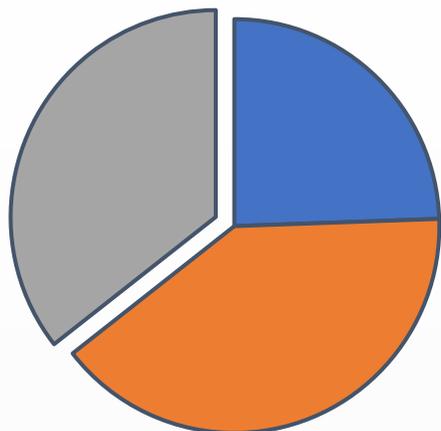


[私立(その他2を含む)]

n=31



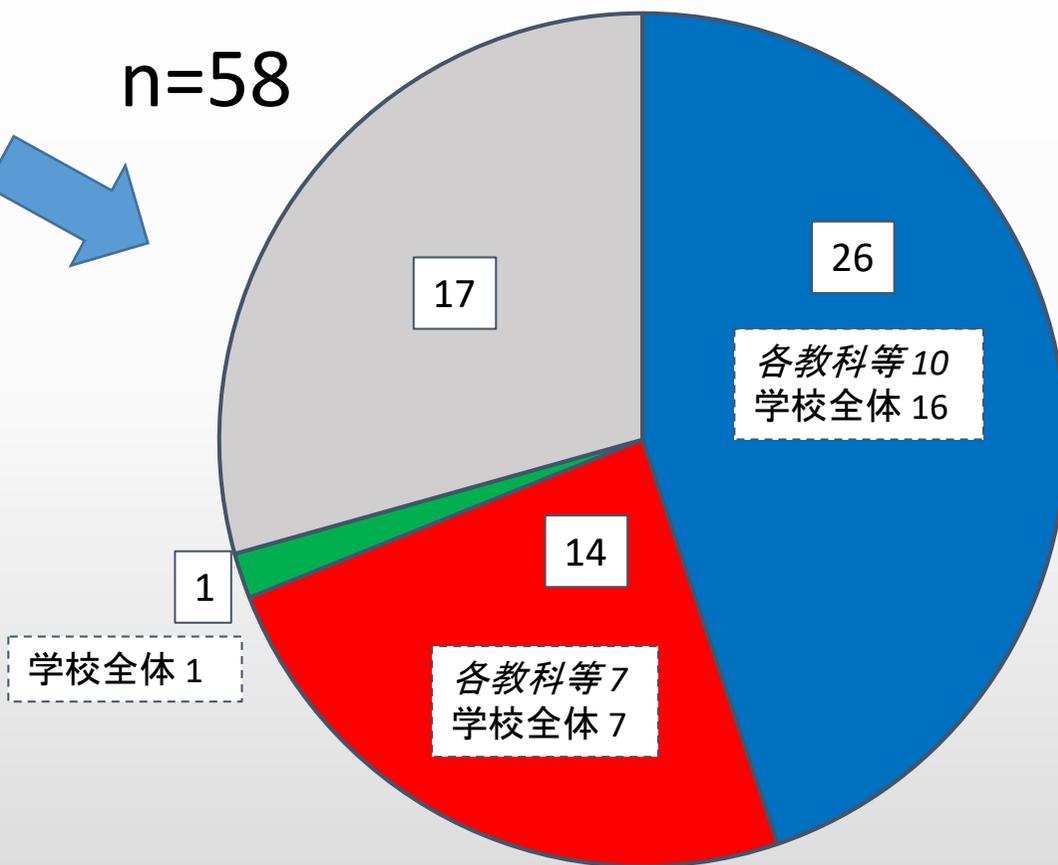
新教育課程の検討



- 1: 教科等で
- 2: 学校全体で
- 0: 組織的には未検討

n=58

履修学年(全体)



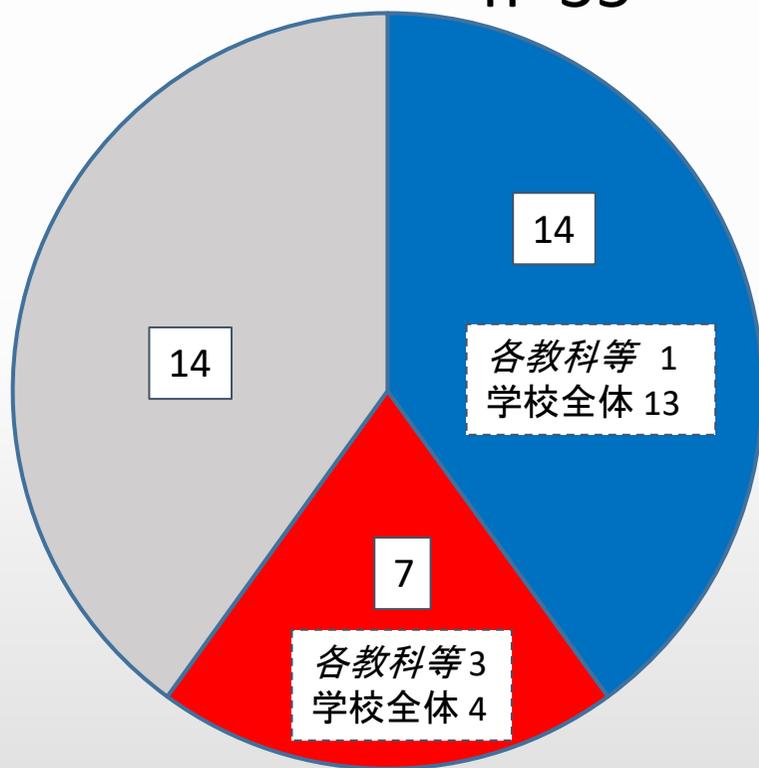
学校全体 1

- 1学年
- 2学年
- 3学年
- 未定

履修学年(設置別)

[国公立]

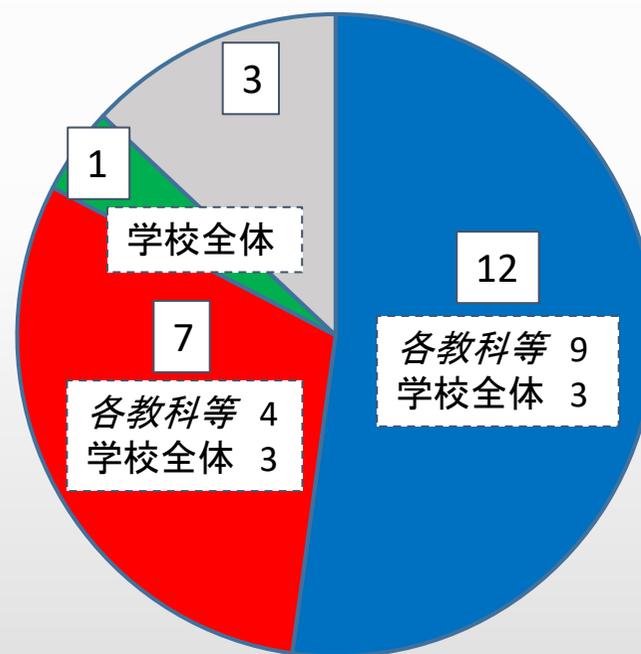
n=35



■ 1学年 ■ 2学年 ■ 3学年 □ 未定

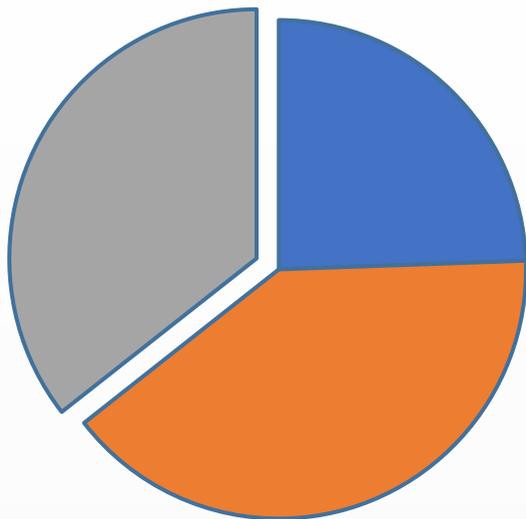
[私立]

n=23



■ 1学年 ■ 2学年 ■ 3学年 □ 未定

新教育課程の検討

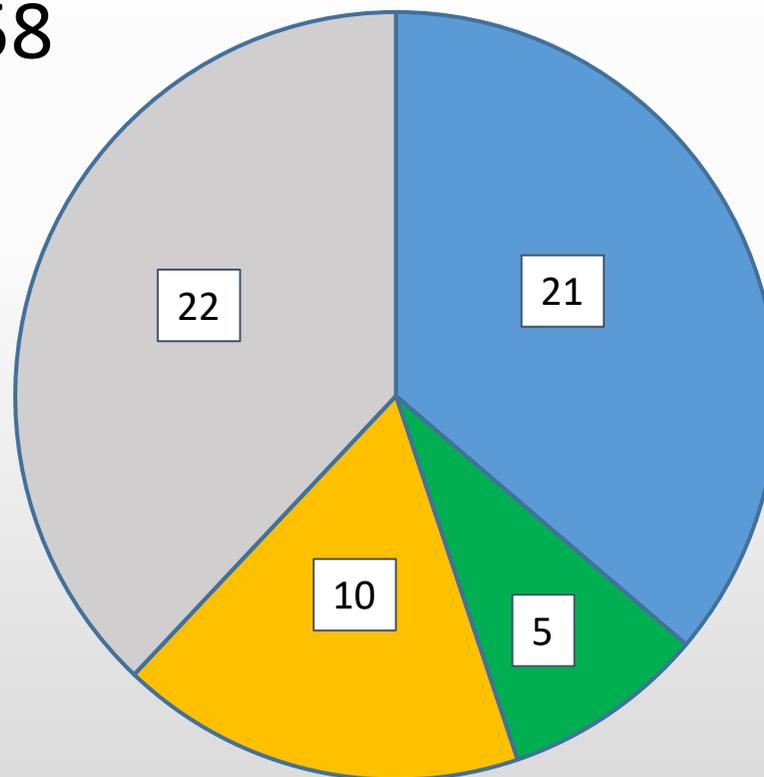


- 1：教科等で
- 2：学校全体で
- 0：組織的には未検討

各教科等 7
学校全体 7

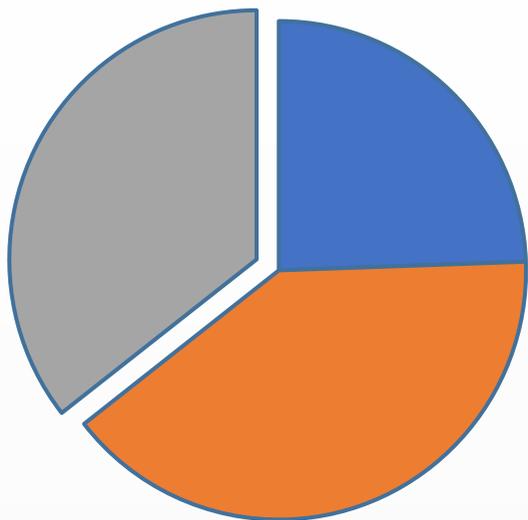
n=58

「歴史総合」との履修順序



- 同学年で履修
- 「地理総合」先修
- 「歴史総合」先修
- 未定

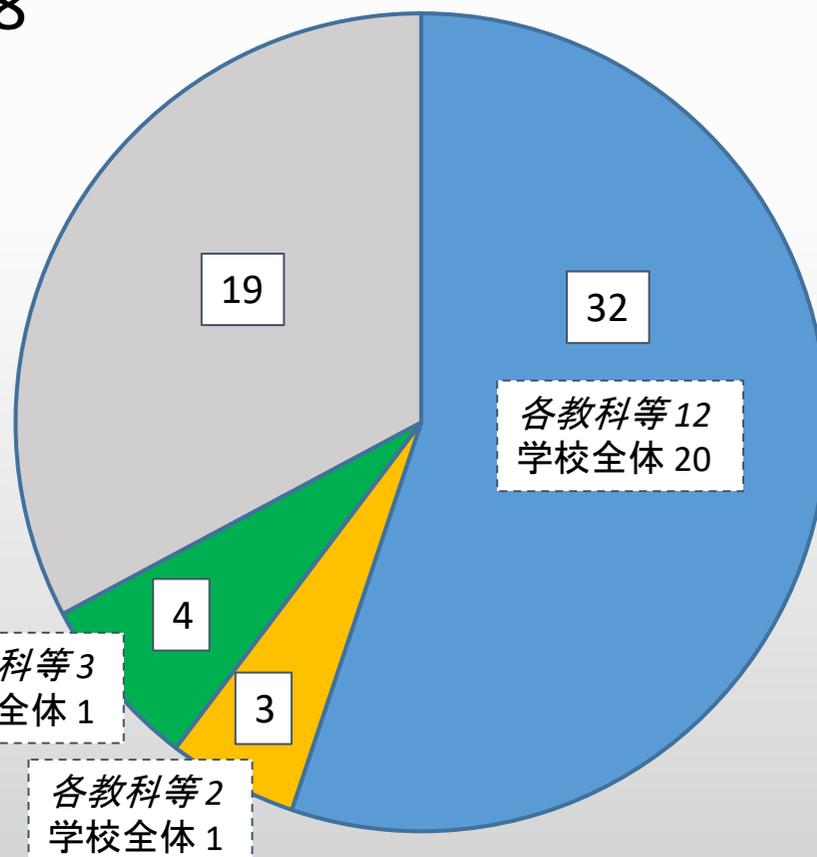
新教育課程の検討状況



- 1: 教科等で
- 2: 学校全体で
- 0: 組織的には未検討

n=58

担当教員(全体)



各教科等3
学校全体1

各教科等2
学校全体1

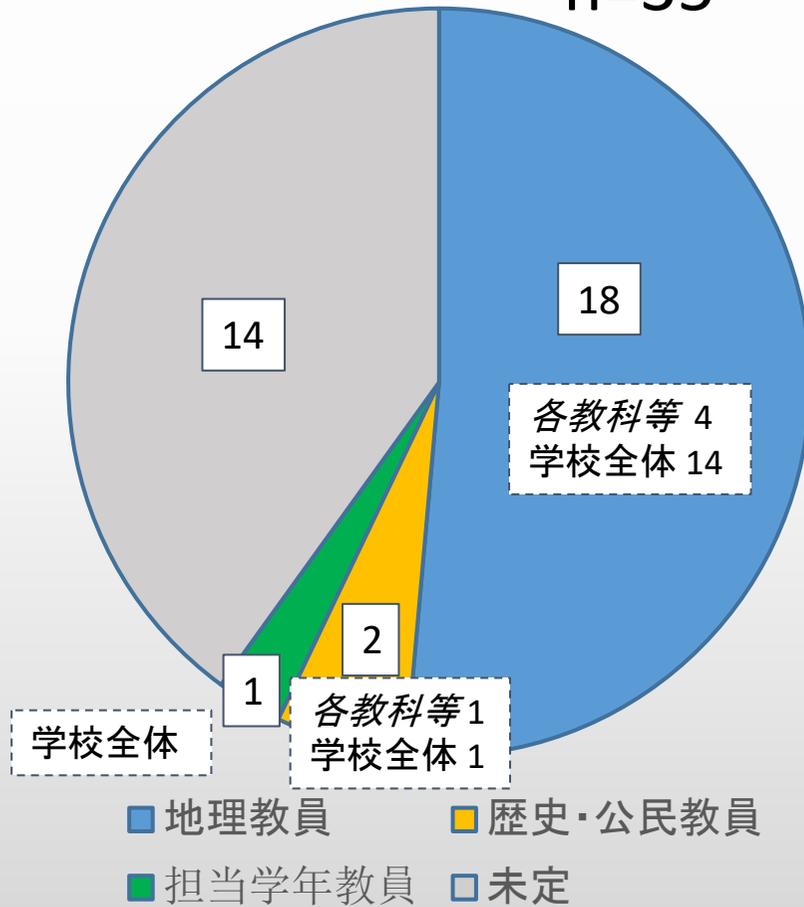
各教科等12
学校全体20

- 地理教員
- 歴史・公民教員
- 担当学年教員
- 未定

担当教員(設置別)

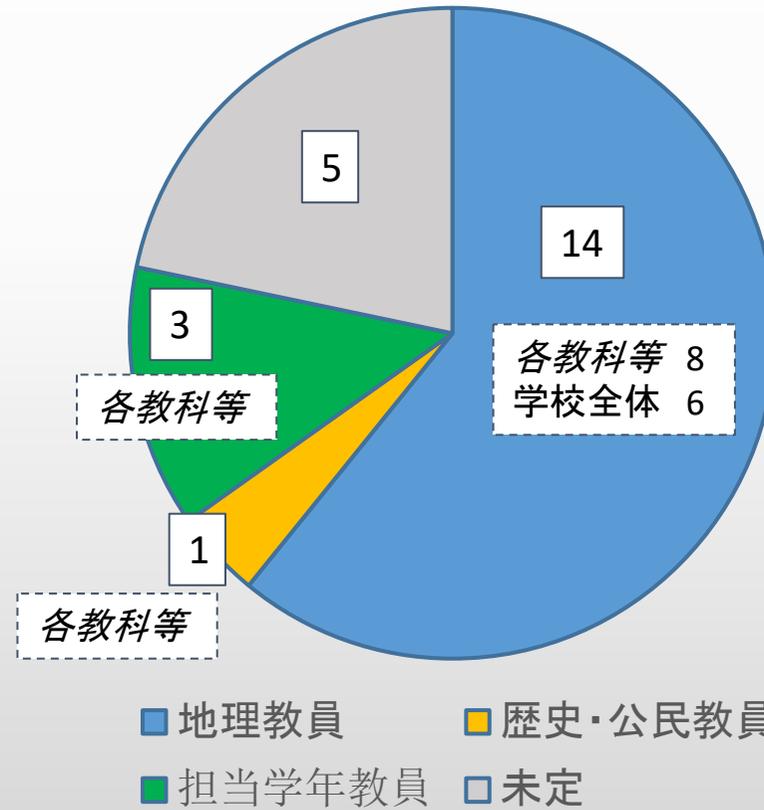
[国公立]

n=35

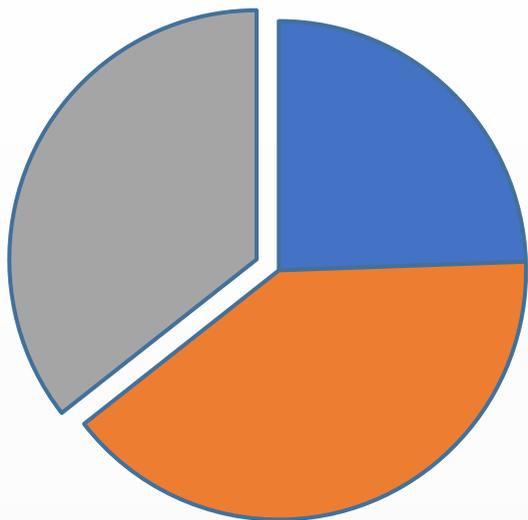


[私立]

n=23



新教育課程の検討状況

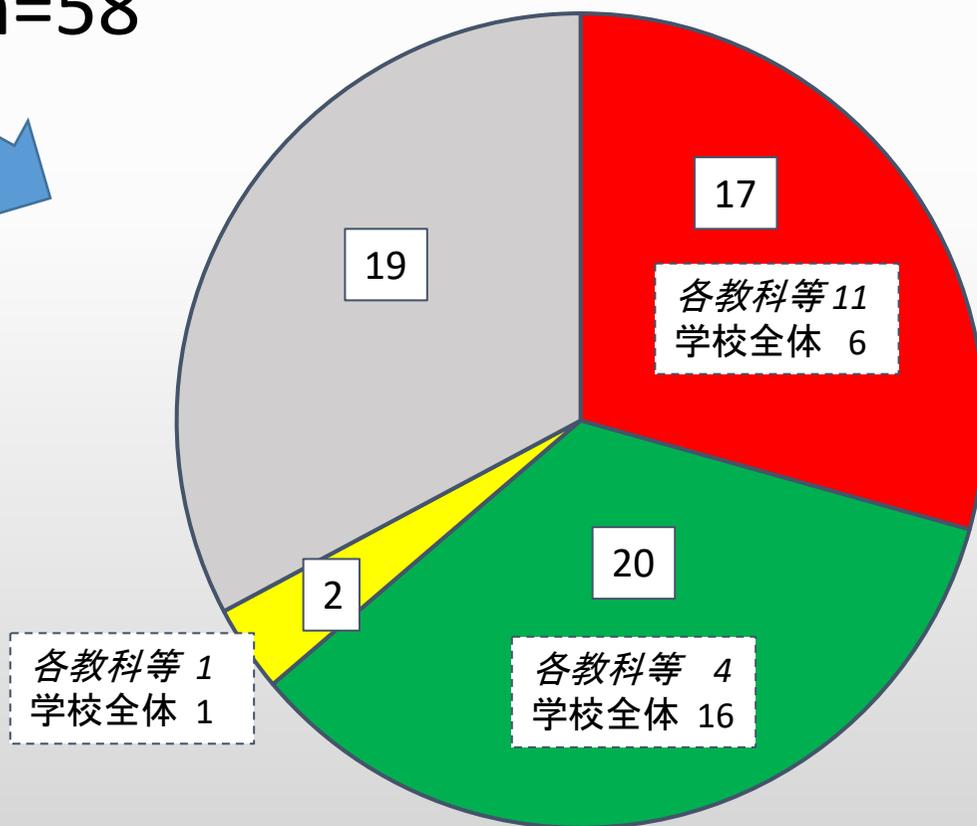


- 1：教科等で
- 2：学校全体で
- 0：組織的には未検討

n=58



「地理探究」開講学年(全体)

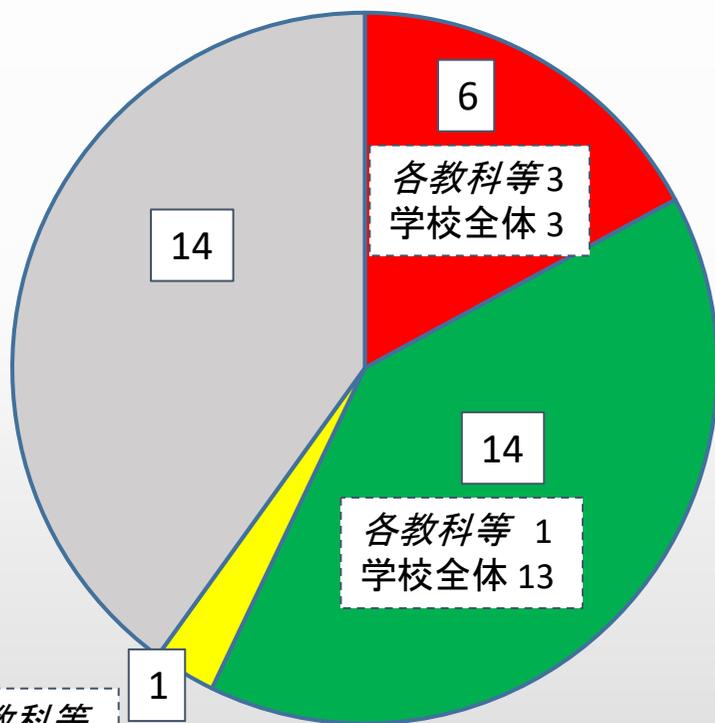


■ 2学年 ■ 3学年以上 ■ 開講しない □ 未定

「地理探究」開講学年(設置別)

[国公立]

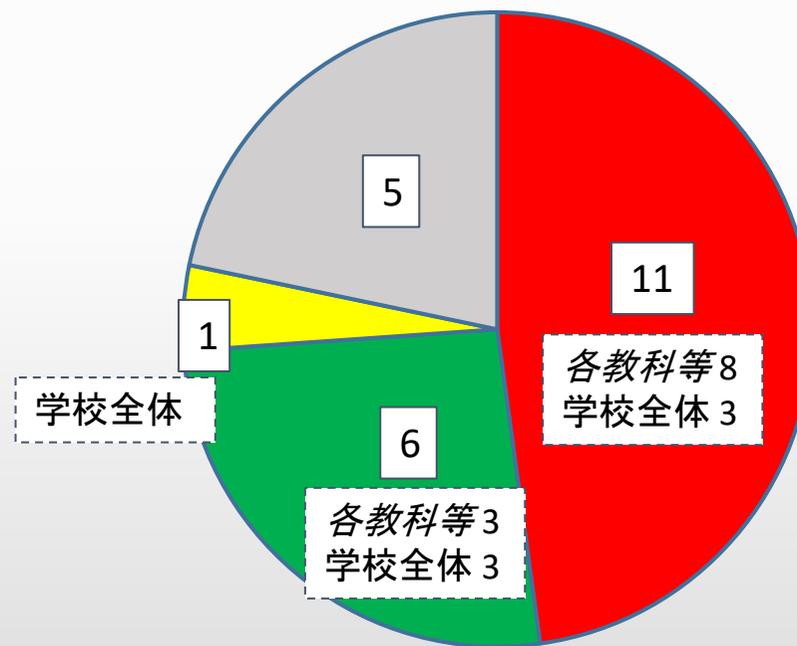
n=35



■ 2学年 ■ 3学年以上
 ■ 開講しない □ 未定

[私立]

n=23



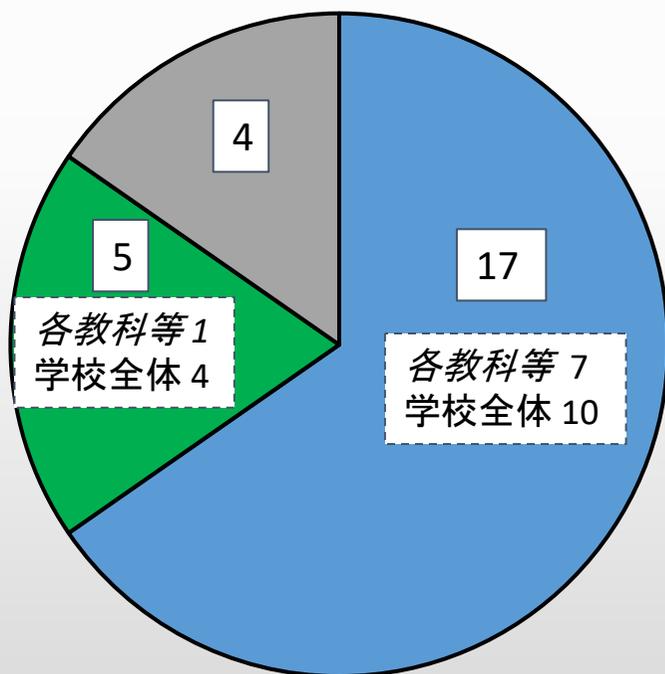
■ 2学年 ■ 3学年以上
 ■ 開講しない □ 未定

「履修学年」による違い

➤ 「歴史総合」との履修順序

[1学年]

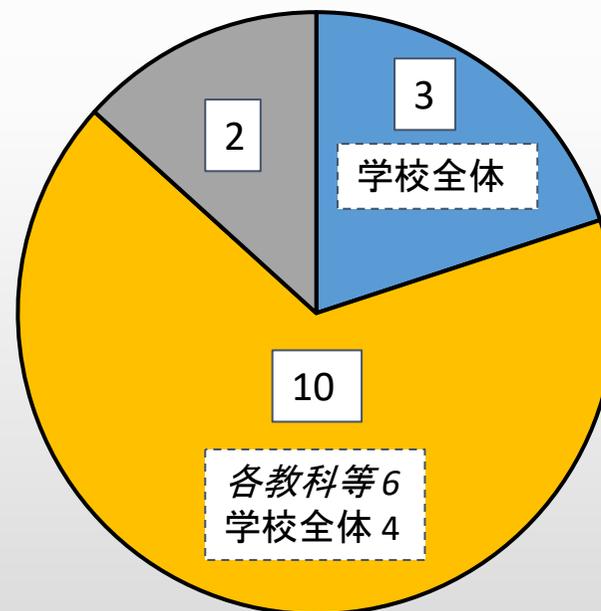
n=26



■ 同学年で履修 ■ 「地理総合」先修 ■ 未定

[2, 3学年]

n=15 (2年:14, 3年1)

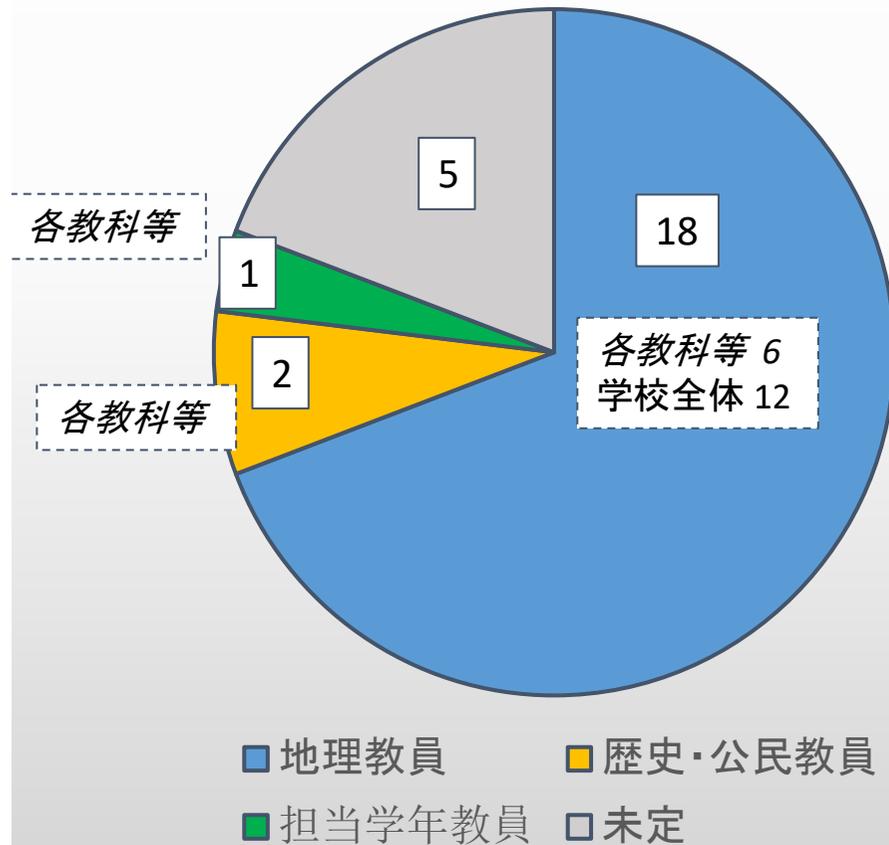


■ 同学年で履修 ■ 「歴史総合」先修 ■ 未定

➤ 担当教員

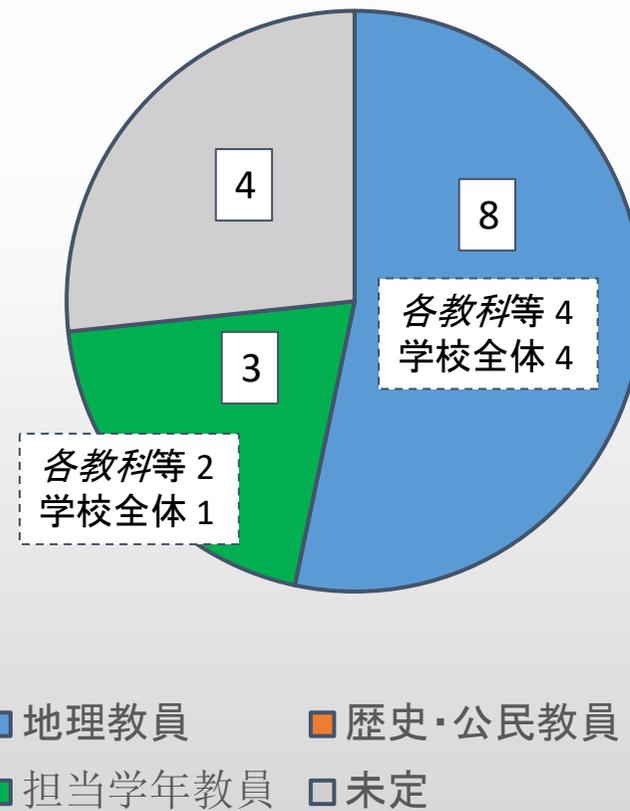
[1学年]

n=26



[2, 3学年]

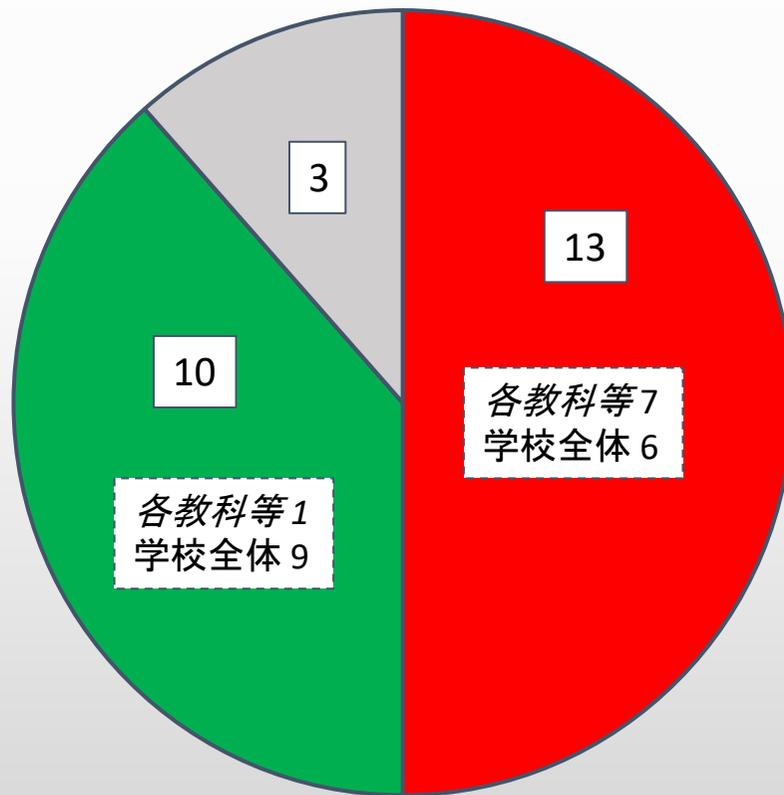
n=15 (2年:14, 3年1)



➤ 「地理探究」開講学年

[1学年]

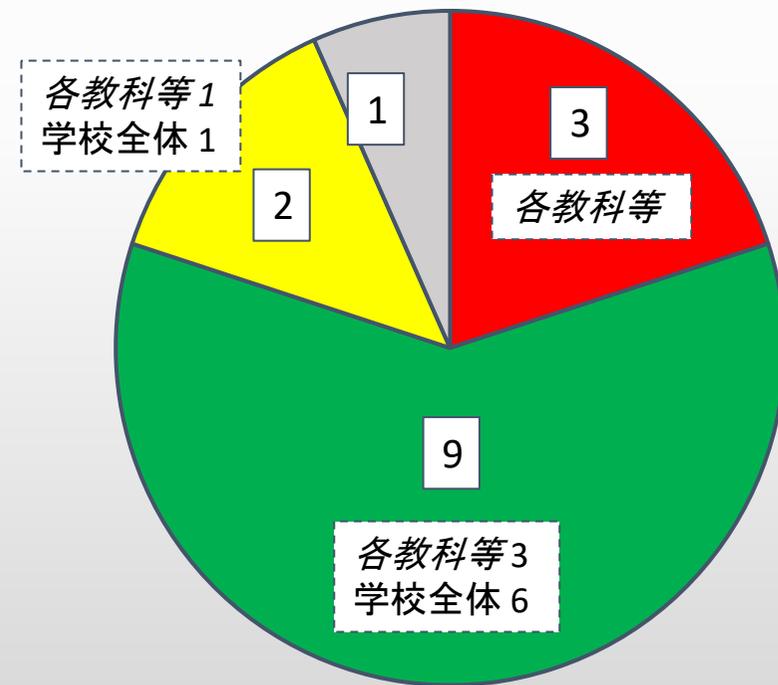
n=26



■ 2学年 ■ 3学年以上 ■ 開講しない □ 未定

[2, 3学年]

n=15 (2年:14, 3年1)

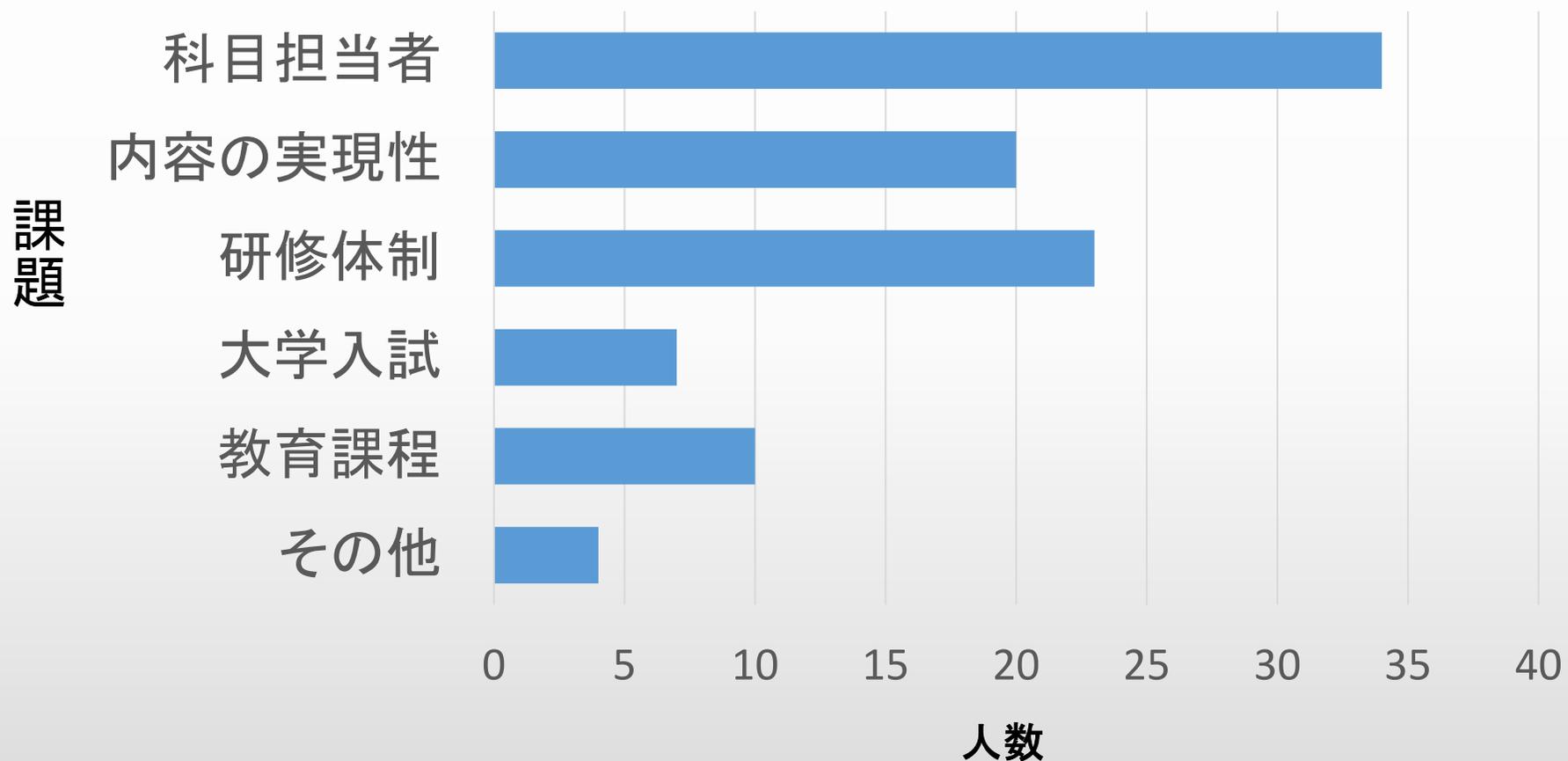


■ 2学年 ■ 3学年以上 ■ 開講しない □ 未定

「地理総合」の課題

1. 科目の担当者－誰が教えるのか？
2. 内容の実現性－示された内容は実施できるか？
3. 研修体制の整備－担当教員をどう支えるか？
4. 大学入試との関係－入試で出題されるのか？
5. 教育課程での位置付け－何年生で履修させるか？

➤ 認識の割合 n=68



※自由記述の内容から前頁5つの課題に合わせて分類。一人の記述でも、複数の課題をあげているものは重複して数えた。

➤ 記述の一例

〔科目担当者〕(文体等一部を変更、省略。以下同じ)

- ✓ 多くの高校において地理専門の教員は1名しか配置されていないのが現状。「地理総合」が必修となって地理の時間数が増加すると大規模校においては地理専任教員が2名必要。地理専門の教員が「地理探究」を主に担当するとなった場合、地理が専門でない教員が「地理総合」を担当することが現実的。この場合に、地図やGISを用いたり、様々な資料を読み取る、調べるといったスキルを重視する「地理総合」の指導が本当に行えるのか、地形図が苦手な地歴科教員が多い中で不安要素。

〔内容の実現性〕

- ✓ 地理総合が具体的に何を学ぶ科目なのか？科目観が全くイメージできない。このような状況で具体的に何を準備したら良いのかが分からない。「地理総合」の科目観に対する学校間格差もあるので、フローチャートや図で示すのではなく、具体的に教科書のようなものを提示して欲しい。
- ✓ ベテランの地理教員が「GIS」をととても軽視し、共通テストには出てこない旨の意見を持っていて、地理歴史科でもそのような発言をしている。どこまでGISを扱うのか、日本地理学会として示してほしい。
- ✓ ICT環境の整備が不十分で。

〔研修体制〕

- ✓ 歴史や公民の教員が地理を教える機会が出てくると思う。そういった方々が心配されていることを聞いたり、地理の教え方に関する講習会を開いたりするべきだと考える。現在大学の附属学校に勤務しているが、大学の教員からそういったことの相談が全くないことに非常に大きな問題を感じている。

〔大学入試〕

- ✓ 生徒のほとんどが大学進学を希望していて大学入試科目との関連で実施学年が決定されるものであると考えている。「総合」科目が、理科の「基礎を付す科目」と同様になるのか、「探究」科目が現行の「B」科目的な扱いになるのかで教育課程の編成にも大きな影響がある。

〔教育課程〕

- ✓進学校では英国数の単位数が多く、地理総合の単位数が教授内容に対して少なく感じられる懸念もある。また、順序としては、その内容から「地理探究」を行ってから「地理総合」でも良いのではないかという意見もある。
- ✓1年で開講は厳しい、となると2年次に「地理・歴史総合」を開講し、同時に「地理・歴史探究」を開講することになる。つまり週4時間の配当で、総合科目を前期集中で習得させることが考えられる。理科基礎において、その方法を採用しているので、地歴でもあり得ることだと考えている。この場合、探究科目の下請けになるのではないかと心配している。

〔その他〕

- ✓ 現役の地理教師が敵になる可能性があること。
- ✓ 歴史総合との兼ね合い、歴史教員の科目特性および「〇〇総合」に対する認識との誤差。(歴史教員は、あくまで通史にこだわっており、古代から現代までを網羅しない「歴史総合」は無駄で、その後学校設定科目および「歴史探究」で通史をやり直す認識でいると思う)。

Webアンケートへのご協力
ありがとうございました。